

種目名	国語	選定替えの有無	有・無	選定発行者名		従来の発行者名	光村図書
-----	----	---------	-----	--------	--	---------	------

発行者 観 点		東京書籍	三省堂
1 学習指導要領との関連		各領域において「言葉の力」として身につけたい学習のポイント、方法が随所に示されている。また関連づけられた「てびき」「学びを支える言葉の力」で基礎的な言葉の力について理解しやすい工夫がされている。「未来への扉」により、先を見て、学ぶ意識づけになっている。	各教材に「思考の方法」「語彙を豊かに」を設け、学習のポイントや基礎的・基本的な知識や技能を習得できるように工夫されている。また、「学びの道しるべ」でどのように学びを深めていくのかを示すことで、主体的・対話的で深い学びを実現できるような工夫がされている。
2 「あいちの教育の基本理念」との関連		人としての在り方や生き方を考える教材が選定されており、多様な存在を尊重し、生きていこうとする心を持った人間を育てられるように工夫がされている。「未来への扉」により、10年後、50年後の未来をイメージし、テーマごとに教材が選定されている。	各学年において、様々な状況下で生き抜いていく人々の姿が描かれた教材が選定されており、社会の発展を担い、日本だけでなく、世界を担う意欲をもつことができるように工夫されている。
3 内 容	(1) 内容の選択	学習のポイントが明示され、「言葉の力」や「学びを支える言葉の力」で身につけた力を、「話すこと・聞くこと」や「書くこと」の教材で定着させることができるよう工夫されている。	「読み方を学ぼう」「思考の方法」で基礎的・基本的な技能を培え、「学びの道しるべ」では対話を促す活動を取り入れた協働的な学びができるよう工夫されている。
	(2) 内容の程度	多様なテーマで、ものの見方や考え方を深める内容となっている。今必要とされる学力を育むための教材や文法の導入を取り組みやすい教材にするなど、今の子どもへの配慮がなされている。	段階的に配置されている。「読むこと」を生かし「書くこと」の学習に取り組めるようになっていたり、学んだ読み方を生かせるよう説明文教材の前にプレ教材を置いたり、工夫されている。
	(3) 内容の構成	言葉の力を育む内容が系統的に配置され、かつQRコンテンツで語彙を増やせるようになっている。読書に関する多様な教材が設定され、読書に取り組む姿勢が育つよう工夫してある。	各領域がバランスよく、かつ系統的に配列されている。QRコードを読み取ると、読み方の解説動画が出てきたり、漢字の学習ができたりと、コンテンツが充実している。
4 表記・表現及び使用上の便宜等		3領域ともに学習の流れがわかりやすく示されている。その教材で何を学ぶのが学習前に分かるようになっており、見通しを持って学習を進めることができる。キャラクターによるコメントにより、わかりやすく気づきを促す工夫がされている。	各教材のはじめに目標が明示されており、見通しをもって学ぶことができるように工夫されている。教材のまとめには、振り返りの観点がキーワードとともにわかりやすく示されている。また図式化してあるものが多く、学びやすく提示されている。
5 印刷・造本等		学習の参考や深化・拡充のための資料はデジタルコンテンツとして用意され、ページ数を削減し軽い。領域ごとに色使いや囲みが統一され、情報を捉えやすくする配慮がされている。	印刷は鮮明で、囲み等の色を学年で統一する工夫がされている。造本は堅ろうで、開きやすく製本されているとともに、手になじみやすい表面加工がされている。

発行者 観 点		教育出版	光村図書
1 学習指導要領との関連		主体的・対話的で深い学びの実現に向け、プレゼンテーションの仕方を効果的に示すなどの意図が感じられる。また、「見方・考え方」を働かせるための教材が複数採録されており、とくに二つの異なる社説を併記して、書き手の視点を考えさせる単元などは生徒の目線に寄り添った教材であると言える。	合意形成に向けた話し合いの仕方等を教材として取り上げ、対話の力を築くための工夫がなされている。また伝統的な言語分野に親しむ教材では、複数年において見開きのページを挿入し、本文を補完する図版を多用するなど、生徒が主体的に学習しやすい工夫がなされている。
2 「あいちの教育の基本理念」との関連		各学年において持続可能な未来を創るためにSDGsを意識した教材を取り入れている。また、課題を発見する、課題を共有し行動する、自己の変容を通じて未来を考えるといった系統も明確で、生徒が自ら考え学ぶことができる工夫がされている。	目標とする事柄を出発点として、どの活動でどのような力を身につけるのかがはっきりしており、生徒が見通しをもって学習に向かうことができる構成となっている。またICT機器をどの場面で利用するのが効果的なのかが比較的把握しやすい。
3 内 容	(1) 内容の選択	「学びナビ」や「みちしるべ」で学習のポイントや流れを示し、SDGsや情報・メディア教材などの今日的な課題を取り上げて主体的に学習に取り組めるよう工夫されている。	「学びへの扉」や「学びのカギ」で学習の流れやポイントを示すとともに、教科横断的な教材により多様な解釈を引き出し、主体的な学び、課題解決能力の向上を図る工夫がされている。
	(2) 内容の程度	発達段階を考慮し「習得」「活用」を繰り返し配置し、段階的に言葉の力を高められるように工夫されている。「言葉の自習室」や「学びのチャレンジ」で個に応じた学びへの配慮もうかがえる。	「学びのカギ」で目指すべき資質・能力が図解され、発達段階や系統性に配慮している。また、言葉のポケットや語彙ブックなどの言葉に関する資料により、語彙力を高める工夫がされている。
	(3) 内容の構成	発達段階に合わせた教材が系統的に配置され、段階的に進められるよう工夫されている。QRコードで作者のメッセージ動画や古典解説などが見られ、主体的な学びに繋がる工夫が見られる。	言葉に関する資料が各学年豊富に用意され、発達段階に応じた教材が系統的に配列されている。QRコードには、語彙ブックや力試しの問題が設定され、主体的に学ぶための工夫が見られる。
4 表記・表現及び使用上の便宜等		学びナビを用いて、その教材で「何を学ぶか」が学習前に分かるように明示されており、指導と評価の一体化を意識した表記となっている。フォントが読みやすく、行間を広くとることで、多くの生徒が自然と本文を読み進めることができる表記となっている。	すべての教材のはじめに目標が分かりやすく提示されており、扱う教材が3領域のいずれの活動なのかを把握しやすい表記となっている。巻頭見開きの「学習の見通しをもとう」では、各教材のどの活動でどんな力を身に付けていくのかが分かりやすくまとめられている。
5 印刷・造本等		裏写りのない紙が使用され、独自の明朝体・ゴシック体で鮮明な印刷がされている。1年生は2・3年生より字詰めや図表のレイアウトが工夫され、識別しやすい配慮がされている。	3領域共通の紙面構成がされており、全体的に柔らかな色彩でまとめられている。図表は、濃淡や地紋でも識別でき、色に頼らない配慮がされている。用紙の色がややクリーム色がかっており見やすい。